



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社ティラド
 コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 嘉納 裕躬
 (氏名) 百瀬 芳孝

TEL 03-3373-1101

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	69,115	7.4	2,920	50.2	3,661	44.0	1,609	64.8
25年3月期第3四半期	64,384	△3.6	1,944	△36.6	2,542	△26.4	976	△59.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,454百万円 (248.7%) 25年3月期第3四半期 990百万円 (31.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.59	—
25年3月期第3四半期	11.89	11.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	70,790	40,967	56.2	483.83
25年3月期	65,203	37,897	56.7	449.65

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 39,751百万円 25年3月期 36,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,600	9.2	4,500	70.7	5,200	58.5	2,200	140.4	26.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) T.RAD ITALIA S.p.A.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	83,444,057 株	25年3月期	83,444,057 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,284,279 株	25年3月期	1,273,735 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	82,166,236 株	25年3月期3Q	82,174,505 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
5. 補足情報	14
販売の状況(連結)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、円安進行や政府の経済対策等による効果もあり、企業業績の改善や個人消費に持ち直しの動きが出るなど、景気は回復に向かっております。

しかし、欧州経済の低迷長期化や、中国をはじめとする新興国において経済成長の鈍化傾向が顕れるなど、依然として実態経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、売上高（外貨ベース）は、アジアと欧州において前年同期比増加しましたが、国内景気成長鈍化の影響を受けた日本、米国及び中国で前年同期比減少しました。営業利益は、主に日本にて前年同期比減益となりましたが、好調な売上に支えられたアジアと客先減産からの販売回復及び新規受注機種量産開始が寄与した欧州において、前年同期比増益となりました。四半期純利益は、米国司法省との司法取引契約締結に伴う罰金及びイタリア子会社売却に伴う特別損失の計上がありました。アジア拠点の増益と投資有価証券売却益が寄与したことにより、前年同期比増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4,731百万円増加し、69,115百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は前年同期比976百万円増加し、2,920百万円（前年同期比50.2%増）、経常利益は前年同期比1,119百万円増加し、3,661百万円（前年同期比44.0%増）、四半期純利益は前年同期比632百万円増加し、1,609百万円（前年同期比64.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、連結子会社の当第3四半期連結累計期間の決算日は9月30日であり、連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。該当するセグメントは、米国、欧州、アジア、中国、その他であります。

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率※ (外貨ベース)	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率※ (外貨ベース)
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
日本	40,345	39,379	△966	△2.4	332	△114	△447	△134.3
米国	9,397	11,040	1,643	△6.7	501	570	69	△9.7
欧州	2,233	3,204	971	11.5	△313	△215	98	45.7
アジア	7,278	9,719	2,441	12.2	748	1,807	1,060	107.6
中国	4,283	5,096	813	△8.1	550	723	173	1.5
その他 (含む消去)	848	678	△170	△20.1	125	148	23	18.6
合計	64,384	69,115	4,731	△1.4	1,944	2,920	976	28.3

※表中の増減率（外貨ベース）は、海外売上上の為替換算レート変動による差異を補正した場合の増減率です。

① 日本

自動車用は、ハイブリッド車と軽自動車の受注が好調に推移しておりますが、エコカー補助金終了の影響により、売上高は前年同期比3.8%の減少となりました。建設産業機械用は、中国、インドネシアにおける石炭需要低下の影響により減少しましたが、消費税率引き上げ前の駆け込みと住宅建設・公共事業需要により増加し、売上高は前年同期並みとなりました。空調機器用は、家庭用エアコンにおいて、猛暑と客先新製品の販売好調による受注増が寄与し、売上高は前年同期比17.0%の増加となりました。

この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比966百万円減少し、39,379百万円となりました。

営業利益は、自動車用売上上の減少と研究開発費増加により、前年同期比447百万円減少し、△114百万円となりました。

② 米国

自動車用は、前期における主力受注機種のモデルチェンジ前の駆け込み受注増の反動と、ミリタリー系の受注が減少したことにより、売上高は前年同期比8.3%の減少となりました。建設産業機械用は、新規受注機種量産開始により売上高は前年同期比3.0%の増加となりました。この結果、外貨ベースでの売上高は前年同期比6.7%の減少となりました。円換算した当該セグメントの売上高は、為替の影響により前年同期比1,643百万円増加し、11,040百万円となりました。

営業利益は、為替の影響により前年同期比69百万円増加し、570百万円となりました。外貨ベースでは、前年同期比9.7%の減益となりました。

③ 欧州

自動車用は、チェコにおいて車両モデルチェンジによる受注車種の販売好調及び前年の客先減産からの販売回復が継続したことにより、売上高は前年同期比41.2%増加しました。また、ロシアにて新規受注機種量産開始により前年同期比43.7%増加しました。空調機器用は、チェコにおいて得意先の在庫調整終了に伴う受注回復が継続し、売上高は前年同期比18.4%増加しました。この結果、外貨ベースでの売上高は前年同期比11.5%の増加となりました。円換算した当該セグメントの売上高は、前年同期比971百万円増加し、3,204百万円となりました。

営業利益は、△215百万円となりましたが、自動車用の売上増加が寄与し、前年同期比98百万円増加しました。外貨ベースでは、前年同期比45.7%の増益となりました。

④ アジア

自動車用は、タイにおいて、前年度よりエコカー減税の駆け込み需要による受注増加が継続したことから、売上高は前年同期比23.8%増加しました。また、インドネシアにて主に前期に新規受注した機種の量産開始により、売上高は前年同期比38.4%増加しました。空調機器用は、タイでの空調機器用パイプ事業からの撤退により、売上高は前年同期比95.0%の減少となりました。建設産業機械用は、タイにおいてインドネシアの鉱山向け新規受注機種量産開始により、売上高は前年同期比8.7%の増加となりました。この結果、外貨ベースでの売上高は前年同期比12.2%の増加となりました。円換算した当該セグメントの売上高は、前年同期比2,441百万円増加し、9,719百万円となりました。

営業利益は、自動車用の好調な売上に支えられ、前年同期比1,060百万円増加し、1,807百万円となりました。外貨ベースでは、前年同期比107.6%の増益となりました。

⑤ 中国

自動車用は、4月以降、新規受注した機種の量産開始により、売上高は前年同期比7.2%増加しました。建設産業機械用は、得意先各社の在庫圧縮調整の影響が軽減され、売上高は前年同期比33.5%増加しました。空調機器用は、中国国内市場の低迷による受注減少により、売上高は前年同期比62.0%の減少となりました。この結果、外貨ベースでの売上高は前年同期比8.1%の減少となりました。円換算した当該セグメントの売上高は、為替の影響により前年同期比813百万円増加し、5,096百万円となりました。

営業利益は、為替の影響により前年同期比173百万円増加し、723百万円となりました。外貨ベースでは、前年同期比1.5%の増益となりました。

⑥ その他

その他セグメントの売上につきましては、国内子会社において、前年同期比170百万円減少し、678百万円となりました。なお、その他の区分は、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は70,790百万円で、前連結会計年度末比5,586百万円増加しました。主な要因は、海外売上上の増加により流動資産が3,258百万円増加するとともに、設備投資により有形固定資産が2,363百万円増加したことによるものです。

負債は29,822百万円となり、前連結会計年度末比2,516百万円増加しました。

主な要因は、支払手形及び買掛金2,660百万円増加したことによるものです。

純資産は40,967百万円となり、前連結会計年度末比3,069百万円増加しました。

主な要因は、利益剰余金が1,116百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が1,374百万円、その他有価証券評価差額金が316百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期末の残高と比較して882百万円増加し、9,514百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの増減要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,489百万円のプラスとなりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益(有価証券売却損益控除後)1,896百万円と減価償却費3,033百万円の計上及び賞与502百万円、法人税808百万円の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,092百万円のマイナスとなりました。主に、有形固定資産の取得4,357百万円と投資有価証券の売却1,688百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、692百万円のマイナスとなりました。借入金(含むファイナンスリース)247百万円減少、配当金支払い493百万円及びロシア子会社への増資に伴う少数株主よりの出資51百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表しました業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、T.RAD ITALIA S.p.A.(連結子会社)は、当社が保有する全株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,031	8,109
受取手形及び売掛金	16,959	19,686
有価証券	3,391	1,791
商品及び製品	1,205	1,371
仕掛品	302	286
原材料及び貯蔵品	3,445	3,157
繰延税金資産	603	425
その他	1,960	2,303
貸倒引当金	△50	△24
流動資産合計	33,849	37,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,553	6,391
機械装置及び運搬具(純額)	8,556	9,795
土地	2,080	2,167
リース資産(純額)	440	334
建設仮勘定	2,341	2,433
その他(純額)	1,325	1,539
有形固定資産合計	20,299	22,662
無形固定資産		
その他	990	947
無形固定資産合計	990	947
投資その他の資産		
投資有価証券	8,309	8,149
長期貸付金	0	—
前払年金費用	169	274
繰延税金資産	27	29
その他	1,592	1,651
貸倒引当金	△35	△32
投資その他の資産合計	10,064	10,072
固定資産合計	31,353	33,682
資産合計	65,203	70,790

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,965	12,626
短期借入金	6,275	4,339
リース債務	833	751
未払法人税等	311	336
未払費用	1,841	2,048
賞与引当金	1,158	656
役員賞与引当金	49	48
製品保証引当金	45	42
設備関係支払手形	86	184
その他	765	1,199
流動負債合計	21,333	22,234
固定負債		
長期借入金	1,697	3,925
リース債務	1,610	1,420
繰延税金負債	2,282	1,998
退職給付引当金	145	8
役員退職慰労引当金	5	6
資産除去債務	86	87
その他	144	141
固定負債合計	5,972	7,588
負債合計	27,306	29,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,545	8,545
資本剰余金	7,473	7,473
利益剰余金	21,421	22,537
自己株式	△398	△401
株主資本合計	37,042	38,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,219	1,536
為替換算調整勘定	△1,314	59
その他の包括利益累計額合計	△94	1,595
新株予約権	75	40
少数株主持分	873	1,174
純資産合計	37,897	40,967
負債純資産合計	65,203	70,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	64,384	69,115
売上原価	57,104	60,423
売上総利益	7,279	8,692
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	845	794
給料及び手当	1,280	1,387
賞与引当金繰入額	124	137
役員賞与引当金繰入額	25	48
退職給付引当金繰入額	90	84
福利厚生費	481	554
研究開発費	830	1,025
その他	1,656	1,739
販売費及び一般管理費合計	5,335	5,771
営業利益	1,944	2,920
営業外収益		
受取利息	53	36
受取配当金	122	163
持分法による投資利益	172	256
為替差益	44	278
受取補償金	247	—
その他	125	178
営業外収益合計	766	912
営業外費用		
社債利息	9	—
支払利息	109	110
投資事業組合運用損	11	2
その他	38	58
営業外費用合計	168	171
経常利益	2,542	3,661
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	49	966
新株予約権戻入益	69	40
特別利益合計	129	1,013

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	20	19
固定資産除却損	72	47
投資有価証券評価損	2	8
関係会社株式売却損	—	565
減損損失	2	18
ゴルフ会員権評価損	1	—
リース解約損	—	18
課徴金等	788	1,701
特別損失合計	887	2,378
税金等調整前四半期純利益	1,783	2,296
法人税、住民税及び事業税	591	904
法人税等調整額	199	△281
法人税等合計	790	623
少数株主損益調整前四半期純利益	992	1,673
少数株主利益	16	63
四半期純利益	976	1,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	992	1,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	316
為替換算調整勘定	36	1,243
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	221
その他の包括利益合計	△2	1,781
四半期包括利益	990	3,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	3,299
少数株主に係る四半期包括利益	21	154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,783	2,296
減価償却費	2,851	3,033
減損損失	2	18
課徴金等	—	1,701
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△105	△102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△556	△501
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△45	△0
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△17	△4
受取利息及び受取配当金	△171	△195
支払利息	118	110
持分法による投資損益(△は益)	△172	△256
有形固定資産除却損	72	47
有形固定資産売却損益(△は益)	9	12
売上債権の増減額(△は増加)	3,016	△2,673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64	302
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,850	2,556
有価証券売却損益(△は益)	△49	△400
有価証券評価損益(△は益)	2	8
その他の流動資産の増減額(△は増加)	334	△551
その他の流動負債の増減額(△は減少)	581	370
その他	△135	△63
小計	4,608	5,704
利息及び配当金の受取額	346	395
利息の支払額	△110	△110
法人税等の支払額	△601	△808
課徴金等の支払額	—	△1,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,243	3,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,536	△4,357
有形固定資産の売却による収入	31	55
投資有価証券の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の売却による収入	49	1,688
関係会社の整理による収入	51	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△66
その他	△323	△411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,731	△3,092

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△757	28
長期借入れによる収入	536	2,357
長期借入金の返済による支出	△625	△2,281
社債の償還による支出	△756	—
少数株主からの払込みによる収入	97	51
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△739	△493
少数株主への配当金の支払額	△34	—
その他	210	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,069	△692
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	474
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,527	179
現金及び現金同等物の期首残高	10,159	9,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,631	9,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	40,345	9,397	2,233	7,278	4,282	63,536	847	64,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,107	41	49	67	37	3,303	2,135	5,438
計	43,452	9,438	2,282	7,345	4,320	66,839	2,983	69,823
セグメント利益 又は損失(△)	332	501	△312	747	550	1,818	153	1,972

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………イタリア・チェコ・ロシア

アジア……………タイ・インドネシア

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,818
「その他」の区分の利益	153
セグメント間取引消去	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	1,944

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	39,379	11,039	3,204	9,718	5,095	68,437	677	69,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,217	117	41	60	60	3,497	2,101	5,599
計	42,596	11,157	3,245	9,779	5,156	71,935	2,779	74,714
セグメント利益 又は損失(△)	△114	569	△214	1,807	723	2,772	138	2,910

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………イタリア・チェコ・ロシア

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,772
「その他」の区分の利益	138
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	2,920

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

5. 補足情報

販売の状況(連結)

(単位:百万円)

営業年度 用途	前第3四半期連結 累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結 累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		差 引		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
自動車用	36,064	56.0	41,120	59.5	5,056	14.0	50,283	57.5
建設産業機械用	17,446	27.1	18,378	26.6	931	5.3	22,689	25.9
空調機器用	7,213	11.2	7,168	10.4	△45	△0.6	9,749	11.1
その他	3,660	5.7	2,449	3.5	△1,211	△33.1	4,807	5.5
合 計	64,384	100.0	69,115	100.0	4,731	7.3	87,530	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。